

『石見銀山』世界遺産登録15周年を記念し、待望の関西公演実現!!

世界遺産“石見銀山”と日本遺産“石見神楽”を擁した島根県大田市において、2017年に世界遺産登録10周年を記念し創作されたオペラ『石見銀山』は、世界初の試みである西洋音楽と日本の伝統芸能を融合させた全く新しい形のオペラです。

二度の東京公演で全国的に高い評価を得た舞台を、和の芸術文化の聖地、世界遺産の町「京都」でお楽しみください。

オペラ「石見銀山」あらずじ

大永6年(1526年)、『石見銀山』を発見した筑前博多の商人・神屋寿禎(かみやじゅてい)は、坑夫頭として於紅孫右衛門、吉田与三右衛門とその弟の吉田藤左衛門の3人を伴って石見銀山に入り、本格的な開発を始める。力を合わせ切磋琢磨し銀の採掘に励む三人だったが、やがて坑夫達の争いごとに巻き込まれ、いつしか関係が崩れはじめる。弟の密告により、妻お高と孫右衛門の不貞を知った与三右衛門は、孫左衛門を《於紅谷(おべにだに)》に呼び出し……。

時は戦国時代。世界一の銀の採掘を誇り日本一の繁栄を極めた『石見銀山』。

この物語は、そこに生きた男女の儚い悲恋の物語です。

THE LEGEND (ザレジェンド)

日本初の男声オペラ歌手だけのヴォーカルグループ。

海外留学経験やコンクール受賞歴のあるプロフェッショナルなオペラ歌手が、鍛え抜かれたダイナミックで重厚な声を武器に、クラシックという音楽ジャンルの垣根を超え、あらゆるジャンルの音楽をベルカント(ベルカント唱法)で歌いまくる。2011年結成当初から今日に至るまで、全国のコンサートホールを中心にノンマイクによるライブステージを展開する一方、所属メンバーが中心となって企画制作する新作オペラの上演を毎年続けている。

2020年にはオンライン配信による観客投票形式の公開オーディションを行い新メンバーが加入。2021年は結成15周年を記念し、コンサートツアー「BELCANTISM 2021」を全国15カ所で開催。

今年2022年夏には、昨年夏に名古屋にて初演し好評を博した、幕末オペラ新撰組外伝「歳三が愛した女」を京都、東京、名古屋、仙台、札幌、函館の6都市にて上演する。



神屋 寿禎 於紅 孫右衛門 吉田 与三右衛門 吉田 藤左衛門 神主/大津見命
柿迫 秀 (テノール) 吉田 知明 (テノール) 志村 糧一 (テノール) 内田 智一 (バリトン) 菅原 浩史 (バスバリトン)

お高/坂井田 真実子 (ソプラノ)

国立音楽大学及び同大学院修了。

ロータリー財団奨学生として渡伊。伊セギツィ国際ソリストコンクール聴衆賞(2位)受賞。文化庁新進芸術家海外研修派遣員としてウィーンへ派遣。2016年、指定難病「視神経脊髄炎」を発症し一時は下半身不随となるが、現在は後遺症や病氣と共存しつつステージに復活。二期会会員。NPO法人日本視神経脊髄炎患者会理事長。RDDJapan アンバサダー。



龍蛇/松浦 麗 (メゾソプラノ)

大阪教育大学卒業。藤沢オペラコンクール第3位。

藤原歌劇団「蝶々夫人」「どろぼうかささぎ」、新国立劇場「魔笛」「ワルキューレ」「ドン・カルロ」、びわ湖ホール「神々の黄昏」等に出演。ベルカントオペラフェスティバルインジャパンではヴァッカイ「ジュリエッタとロメオ」において招聘歌手の来日中止により急遽代役でロメオ役で出演している。藤原歌劇団団員。



作曲・指揮・音楽監督 中村 匡宏

作曲家・音楽博士。

ウィーン国立音楽大学大学院作曲科最終試験最高位。国立音楽大学・大学院首席、博士後期課程博士号(音楽)取得。NHK音楽番組、教科書制作など教育機関へ協力。2022音楽劇「星の王子さま」、幕末オペラ「歳三を愛した女」など日本の新作舞台制作へ貢献。音楽博士の知識と技術を生かした感動と驚きを持つ芸術を展開している。「鍵盤男子」としてアーティスト活動も精力的に行っている。



脚本・演出 吉田 知明

作詞家として2011年「私の祈り」でデビュー。

また、オペラ『石見銀山』、ハイブリッドオペラ『フィガロの再婚』、戦国オペラ『本能寺が燃える』、幕末オペラ『新撰組外伝～歳三を愛した女～』、朗読歌劇『マダム・バタフライ～ある晴れた日に～』など、舞台の原作や脚本・演出も担当。歌手としてだけでなく、作詞/作家・演出家としてマルチに活動している。



ピアニスト 西尾 周祐

兵庫県西宮市生まれ。

国立音楽大学卒業、同大学院音楽研究科修士課程修了。最優秀にて大学院奨学金受賞。皇居・桃華楽堂の御前演奏会に出演。ドイツ・ケルンのマスタークラスを修了。2015年より THE LEGEND の専属ピアニストとして全国各地のコンサートに帯同。多くの舞台作品や録音にも携わり、型にはまらないジャンルを超えたピアニストとして活動している。



大屋神楽社中

大屋神楽社中は、元治元年に島根県大田市大屋町の神社でのお祭りにおいて、その年の豊作を祈願し神々に捧げ演じられたのが起源とされている。2014年に結成150周年を迎えた。

舞の特徴は出雲神楽と石見神楽の折衷的舞で、それぞれの演目を継承している。創作神楽への積極的な取り組みも行い、地域の神楽、伝統芸能でもある神楽の更なる発展・保存に向け活動している。

制作 株式会社カンパニーイースト

美術監督 三原 康博

美術プロデューサー。東京藝術大学美術学部工芸科図案計画卒。1961年日本初的美術デザイナー職としてTBS入社。テレビ視聴率 40.9%の伝説の歌番組「ザ・ベストテン」の美術デザイン、「美空ひばり35周年記念」「山口百恵ファイナル武道館」等の舞台美術を多数手がける。伊藤熹誉賞・本賞を2度受賞。(NPO)テレビ日本美術家協会特別顧問。

ナレーション 宮根 誠司(友情出演)

フリーアナウンサー。島根県大田市出身。1987年に朝日放送入社。『おはよう朝日です』等の司会を担当し、関西圏で絶大な人気を得る。

2004年朝日放送退社後、フリーアナウンサーに転身。『情報ライブミヤネ屋』(読売テレビ)、『Mr.サンデー』(フジテレビ)でメインキャスターを務めている。

新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みと公演ご来場の皆様へのお願い

- 入場時にスタッフが検温しますので、ご協力をお願いいたします。
- 常時マスクの着用、受付での手指の消毒、会場内での咳エチケットにご協力をお願いいたします。また、大きな声での会話はできるだけお控えください。
- ほかの方との距離を最低1メートル(できるだけ2メートルを目安に)空けるよう心がけていただき、整列や入場時、移動時、退場時のソーシャルディスタンスの確保にご協力をお願いいたします。
- チケットの半券に、事前にお客様のお名前、お電話番号等連絡先をご記入の上、当日ご来場ください。受付にてご記入いただきました半券部分をいただきます。約1か月間の保管後、破棄いたします。